



SMILE があふれ、HAPPY を感じられる学校



ニューヨーク日本人学校学校だより

平成 29 年 (2017 年) 9 月 29 日 (第 7 号) 文責 校長 小島 昇

生活に生きる英語の習得

先日はオープンスクール(土曜参観)にご来校いただきありがとうございました。日頃から頑張る児童生徒ですが、保護者の皆様に参観していただき、いつも以上に張り切っていたように見えました。

グリーンタイムには、短時間でまとまりのない話になってしまいましたが、私から本校の教育活動の特色と期待する児童生徒の姿についてお話しさせていただきました。

本校の教育の特色として、一番に日本語教育の充実、日常の授業における日本語でのきめ細かい指導により、聴いて、考えて、伝える力を伸ばしていることを取り上げました。このことは、前号の学校だよりでもご紹介しました。

今回は、二つ目の特色である英語教育の充実についてお伝えします。現行の学習指導要領では、小学校においては高学年で週 1 単位時間の外国語活動を、「聞く」「話す」を中心としたコミュニケーション能力の素地を養うことを目標に実施することとしています。小学校で平成 32 年度から全面実施となる新しい学習指導要領では、これまで高学年で実施してきた活動型の学習を中学年から始め、高学年では、聞いたり話したりすることに加えて、読んだり書いたりすることについての態度の育成も含めた、コミュニケーション能力の基礎を養うことを目標に、教科として週 2 単位時間の指導をすることになります。このように、日本では国段階で、「外国語教育については、子供たちが将来どのような職業に就くとしても求められる、外国語で多様な人々とコミュニケーションを図ることができる基礎的な力を育成するこ

とが重要」と考えるようになり、小学校段階の外国語教育が変わろうとしているところです。

本校では、アメリカ人教師等による英語の授業を、初等部で週 4 時間、中等部で週 5 時間実施していることはご承知のとおりです。また、各学年単学級ですが、1 学年を原則 3 クラスの習熟度別で指導しています。もちろん本校に入学する時点での英語力は人それぞれですが、どの児童生徒も、自分の英語力を伸ばそうと懸命です。



上の 2 枚の写真は、9 月に実施した 3 年生と 4 年生のそれぞれ社会科移動教室での一場面です。事前に準備をして、英語でコミュニケーションを取ろうとしている様子が分かります。

学校の英語の授業だけでなく、各家庭での学

校外での取組もあると思いますが、アメリカ社会で生活する利点を学校と家庭の双方で活用し、児童生徒に、生活に生きる英語を習得させていきたいと思っております。

なお、本校のウェブサイトの「英語科/English」のページが2013年度を最後に更新されていませんでした。実際に行っている授業の一部になりますが、毎月、英語科の教員が交替で授業についてご紹介できるように準備を進めております。

平和月間を終えて

6月の灯籠作りから始まり、8.15集会、9.11集会、Pinwheel集会と、平和について考える機会を設定してきました。児童生徒は、発達の段階に応じて平和についての思いを抱くことができました。中等部の生徒の感想をご紹介します。

「私は、9.11集会を通して、改めて平和の大切さ、そしてそれがいかに見えていないかが分かりました。テレビやニュースなどで事件は知っていたけれど、深く考えたり体験を聴いたりして、初めてその酷い現実が迫ってきました。普段、生活している時は思いもよらない出来事がすぐ近くにあると思うと、怖いと同時に“日常”の幸せをかみしめていこうと思います。先生のお話にもあったように、親切にすることや絆を持ち続けることは、人を和ませ、“平和”にしてくれます。この一瞬も生きているありがたみを忘れずに、これからも人を“平和”にできる人間になりたいです。」



カラーの学校だよりを学校ホームページでご覧いただけます。

10月行事予定

※ HP版では掲載していません。



タウンワイドクリーンアップ

9月16日(土)にGreenwich Point Parkにて恒例の清掃活動を行いました。児童生徒とご家族の皆さん、教職員が約200名参加しました。



前号の学校だよりでお伝えしましたが、本校がグリニッチに移転して25年が経過しました。今この恵まれた環境にGJSがあるのは、地域の方々の理解と支援があってこそのものであります。感謝の気持ちを持ち続けること、地域とのつながりを大切にすることをこれからも忘れないようにしていきたいと考えています。これからも保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。